



# おともがわ

学校報 NO, 40

保護者版

令和4年2月10日

みんなで育む豊かな心・健やかな体・確かな学力

## 令和3年度秋田県学習状況調査の結果について

12月に行われた県学習状況調査の結果がまとまりましたのでお知らせします。この調査は、県内の小学4～6年生を対象に、4年生は国語、算数、理科の3教科、5、6年生はそれに社会を加えた4教科で実施されました。また、「学習の意欲等に関するアンケート」を対象学年全部で実施しています。

### 平均通過率について

教科の平均通過率について、県の平均と比較したのが右のグラフです。

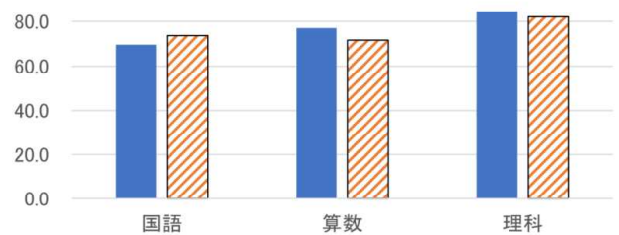
4年生は、国語で県平均を4ポイント下回りましたが、算数と理科は、2～5ポイント上回っています。全体としては、県平均とほぼ同等の結果と言えます。

5年生は、全教科で県平均を上回っており、その幅は4～12ポイントとなっています。おむね良好な結果と言えます。

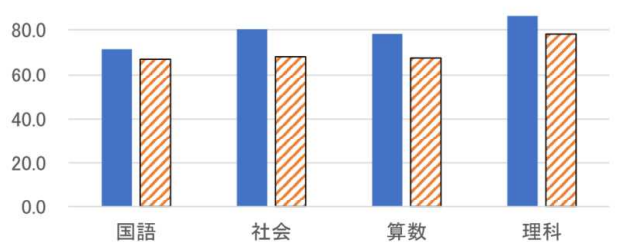
6年生も全教科で県平均を上回っており、その幅は6～19ポイントとなっています。平均通過率が80%を超えた教科が3教科あり、特に理科は96%に達するなど、良好な結果になりました。

なお、これはあくまでも学年としての平均の比較です。学校では、子どもたち一人一人の学力向上のため、個々の状況をしっかりと分析して必要な指導を行うとともに、引き続き授業改善に取り組んでまいります。(個人の結果については、この後学級担任から配付されます)

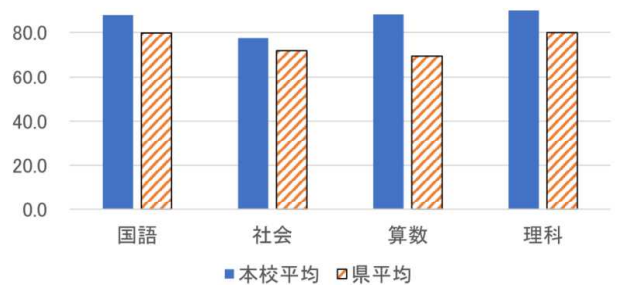
4年生の平均通過率(%)



5年生の平均通過率(%)



6年生の平均通過率(%)



■本校平均 ■県平均

### 各教科の成果(+ )と課題(- )について

4年	+	-
国語	短作文を書くこと 漢字を読むこと	漢字を書くこと/ことわざの意味/心情の読み取り
算数	小数の減法・大小/余りのある除法/二等辺三角形	割り算になる問題 180より大きい角の理解
理科	太陽と影の向きの関係/水のしみ込み方	物体の振動と音の伝わり/人体の動きと筋肉の弛緩

5年	+	-
国語	漢字を読むこと 漢字を書くこと	ローマ字/全文を読み要旨を把握すること
社会	地図やグラフの読み取り/土地や気候と関連付けた考察	災害の備え(災害時の行政の役割の理解)
算数	展開図の理解/角の和の求め方/小数の除法	四角形の特徴/データを表にまとめ未知の数量を求めること
理科	気温と植物の生育の関係/金属や空気の温まり方	グラフから水の変化を読み取る/種子の発芽条件の考察

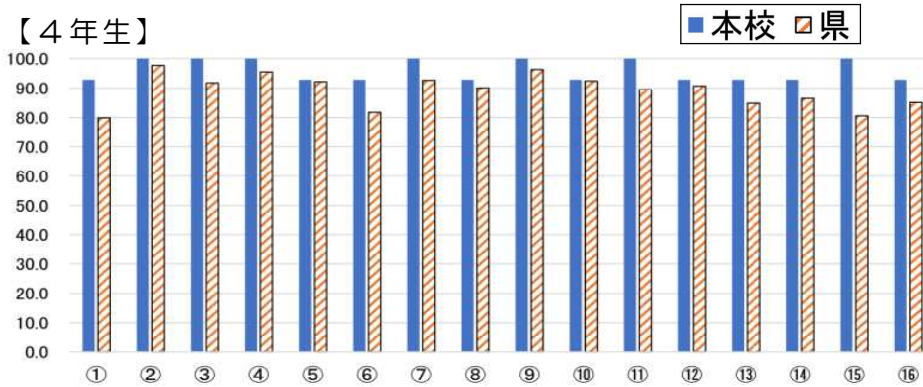
6年	+	-
国語	短作文を書くこと 漢字の読み書き	全文を読み取り、自分なりに再構築して書くこと
社会	地図の活用/情報を基にした仕組みの理解	公害という言葉の意味の理解

6年	+	-
算数	文字式への代入/面積や体積/基準量の求め方	対称の軸/平均から個数を求める/最小公倍数
理科	気体の捕集/燃焼と空気の動き/だ液の働き	振り子が一往復する時間と糸の長さとの関係

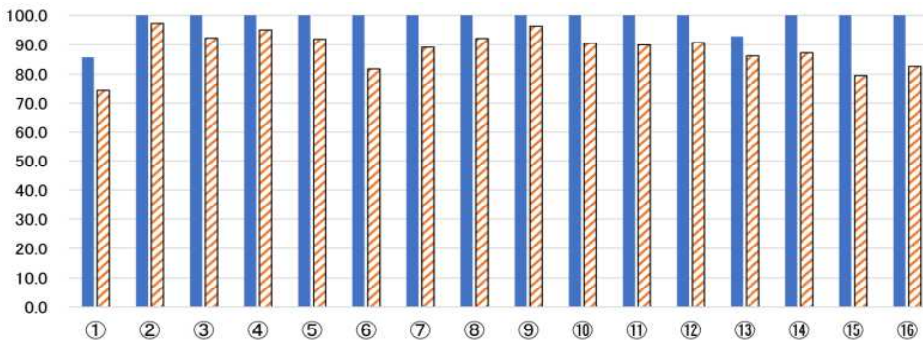
## 学習の意欲等に関するアンケートについて

次のグラフは、アンケートの中から主な項目の結果をまとめたものです。回答の選択肢は、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」の四つでしたが、グラフは、肯定的回答である「当てはまる」または「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童の割合を合計したものです。

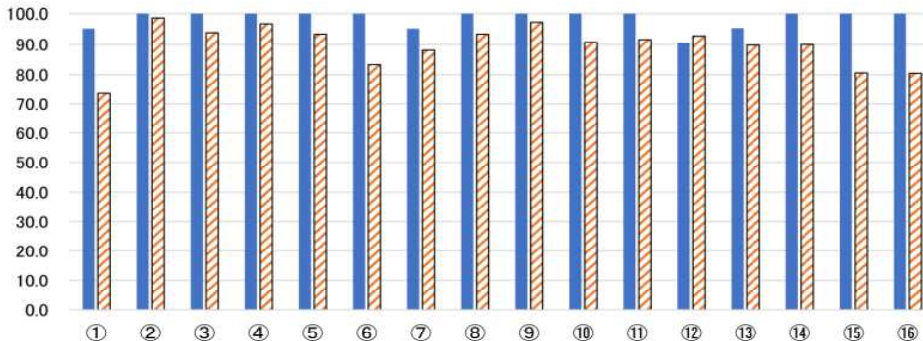
### 【4年生】



### 【5年生】



### 【6年生】



### 【質問項目】

- ①勉強が好きだ
- ②勉強は大切だ
- ③学校の勉強がよく分かる
- ④普段の生活や社会に出たときに役立つよう勉強したい
- ⑤学校が楽しい
- ⑥自分にはよいところがあると思う
- ⑦将来の夢や希望を持っている
- ⑧学校の決まりを守っている
- ⑨人の役に立つ人間になりたい
- ⑩地域のためになる活動に進んで取り組みたい
- ・以下⑩～⑮は「普通の授業で」
- ⑪授業の目標を意識して学習に取り組んでいる
- ⑫学級の友達との間で話し合う活動に進んで取り組んでいる
- ⑬学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている
- ⑭学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている
- ⑮コンピュータなどのICT機器を週1回以上使っている
- ⑯読書は好きだ

ほとんどの項目で肯定的回答の割合が高く、本校の状況はおおむね良好です。中でも、「②勉強は大切だ」「③学校の勉強がよく分かる」「④普段の生活や社会に出たときに役立つよう勉強したい」「⑨人の役に立つ人間になりたい」「⑩普通の授業で、授業の目標を意識して学習に取り組んでいる」「⑮ICT機器を週1回以上使っている」の五つの項目については、全ての児童が肯定的に回答しました。100%に達しなかった項目については、原因を分析したり児童に個別に対応したりして、改善を図っているところです。

本校が特に重視する「自己肯定感(項目⑥)」については、4～6年生全体で「当てはまる(強い肯定)」と回答した児童の割合が約80%でした。児童全員が「自分にはよいところがある」と自信をもって言えるように、一人一人に応じた支援を工夫しながら、成功体験を積み重ねていきたいと考えています。また、「地域貢献(項目⑩)」についても、「進んで貢献したい(強い肯定)」という児童の割合は約82%でした。コロナの状況を見ながらではありますが、今後も子どもたちを地域にどんどん関わらせていきたいと考えています。

